

よりお礼申し上げます。
本町といたしましても、新宮紀宝道路、紀宝熊野道路が1日も早く供用されることを強く期待し、引き続き、国や県、関係各位と緊密に連携し、円滑な事業進捗を図ることができるよう全力で取り組んでまいります。

◆道路事業

町発注建設工事につきまして、「適正な工期の設定」「施工時期の平準化」など、建設工事における働き方改革を推進するため、国土交通省における令和元年度補正予算を活用し、本町においても令和元年度3月補正予算及び令和2年度当初予算が速やかに執行できる体制整備を図っております。

「道整備交付金事業」を活用し、町道相野口永田線改良工事を始めとする27路線の改良工事、及び「社会資本整備総合交付金事業」を活用した、鮎田地区の湯の谷橋を始めとする2橋の橋梁修繕耐震補強工事、及び41橋の橋梁点検や鶴殿地区の新橋梁の上部工に着手してまいります。今後も引き続き、安全・安心な住み良いまちづくりを基本目標に、道路施設の予防修繕と計画的な道づくりを進めてまいります。

併せて無解答率も年々減少傾向にあり、このことも児童・生徒の学力向上につながっている要因の一つと言えます。
また、令和2年度から小学校で新学習指導要領が実施されるにあたり、町内の児童・生徒数の多い小・中学校3校を拠点校として、著名な先生を招いて授業改善に向けた研修会を開催し、各学校が全校体制で研修を継続できる体制を保証し、教職員の指導力の向上を図ることによって、本町の子どもたちのさらなる学力の向上を、目指したいと考えております。

◆外国語教育

新学習指導要領に対応した小学校外国語教育の取り組みであります。本町では平成30年度に矢測中学校 英語科教諭を成川小学校、神内小学校へ、令和元年度は、鶴殿小学校と井田小学校へ派遣し、外国語指導助手ALTを積極的に活用した授業を行っております。

さらに、小学校間の連携を強化するため、神内小学校 英語担

◆石川県中能登町

姉妹町提携を締結しております石川県中能登町とは、令和2年度におきましても、引き続き交流を推進してまいります。

商工施策につきましては、「道の駅・紀宝町ウミガメ公園」におきまして、中能登町のお酒などの特産品を販売し、中能登町の「道の駅・織姫の里なかの」とでは、本町のみかんやマイヤーレモン等を販売していただくとともに、学校給食にもみかんを取り入れていただいているところであります。

今後、「道の駅・紀宝町ウミガメ公園」が主体となって、「道の駅・織姫の里なかの」との物



中能登町参加の様子

当教諭を井田小学校へ、成川小学校 英語担当教諭を鶴殿小学校へ兼務させ、これまでの実践と成果を共有し、さらに発展させる取り組みも推進しております。

中学校においても継続的に授業改善に取り組んだ結果、令和元年度全国学力・学習状況調査の英語において、全国上位県と肩を並べる平均正答率を収めることができました。

英語教育をより充実させるために、幼児期から英語に触れる機会をつくり、うどの幼稚園でもALTが週1回授業を行い、小学校1年生から4年生までも積極的にALTを活用した授業を展開しております。



ALTによる小学校の英語授業

産交流のさらなる充実・拡大に向け、取り組みを進めてまいりたいと考えております。

さらに、イベント等の交流及び地域間連携につきまして、両町の町祭を中心として引き続き取り組みを進め、両町の発展のために相乗効果を発揮できるよう努めてまいります。

スポーツ交流事業におきましては、平成26年度から継続的に、町体育協会、スポーツ少年団関係者、小中学生、保護者等が相互に訪問し合い交流を深めるなかで、競技力の向上を図りながら、友好と親睦を深めております。

また、教職員交流事業といたしましては、平成26年度から、小学校外国語活動や、算数・数学科における習熟度別少人数授業、「特別の教科 道徳」などを視察研修し、事後研究会では両町の教職員が活発な意見交換を行うなかで、共に授業力の向上を目指し、交流を深めております。

令和2年度におきましても教職員交流事業を継続・充実し、授業力の向上を目指すとともに、本町教職員の資質能力のさらなる向上に努めてまいります。

◆教育施策

教育施策全般につきまして

令和2年度からは、小学校では授業時数が年間140時間増加することもあり、ALTを1名増員するなかで、これまで進めてきた幼稚園から小学校低学年も含めた、先進的な英語教育をさらに充実してまいります。

◆道徳教育

また、「特別の教科 道徳」も平成30年度から小学校、令和元年度から中学校で教科化され、本町においても「考え議論する道徳」を目指して、授業の質的改善に取り組んでおります。

令和元年度教職員交流事業に



サマースクール



紀宝町総合教育会議

は、平成27年度から「紀宝町総合教育会議」を設置するなかで、「紀宝町教育大綱」を策定いたしました。

現在、この大綱に基づきまして、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策を推進しているところであります。

学力向上の取り組みにつきましては、平成26年度から「紀宝町学力向上推進協議会」を核として、子どもたちが学ぶ喜びを実感するなかで、学ぶ意欲の向上と、指導力の工夫・改善に向けた取り組みを強化しております。

昨年4月に実施されました、全国学力・学習状況調査におい

おきまして、中能登中学校研究発表会の場に参加させていただきました。本町の教員も分科会での研究協議も含めて多くのことを吸収することができました。

今後は、本交流事業の成果を活用し、町内各小中学校での道徳教育のさらなる充実につなげてまいります。

また、令和2年度も「放課後サポートスクール」を引き続き実施し、児童の自主学習の場を設定することにより、放課後の子どもたちの安全・安心の居場所づくりや、子育て支援につなげてまいります。

さらに、長期休業中に各小学校区の5会場において、「サマー



サイエンススクール